



連野
當流
新式

宇板三友

↑

^ 5
2180
3





利5
巻

産衣

第六

安友貴由女英之

○安

△漢語焉。此乃色。此乃於。折

漢之。其。四乃。名。

漢語焉。此乃色。此乃於。折

△阿波。此乃色。此乃於。折

△粟津。此乃色。此乃於。折

聖曰。此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折

△西。此乃色。此乃於。折

△。此乃色。此乃於。折

此乃色。此乃於。折



▲われ府注 和ぎらる白梅約三二寸し

▲叙一糖 一ひと二 叙と糖南産

▲あられと ありとれさ西り西産

▲泡 一し ありとれし淡書

▲あがり屋 ちりやまひ 糖のまこ

▲あがりれれ ありとれし

▲あへど二し ありとれし

▲わらじし 糖流。又か二さのわらじ

▲わらじし 糖流。又か二さのわらじ

○ほろ糖林ののたふとふも秋あちどひあちど
糖のま ちまふし古た糖あち
糖のりあちどわ糖一ぼ糖し糖の
ち古糖し又まふし糖あちまふし
ちあちどわ糖あちまふし
何まもまふらるちわわ糖一
直りま糖もあちどわちまふらるち

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

▲あちとれ ちまふし

才の末乃居ぬくもくハ云預し 凡
葉しく年のとらしむ

▲青葉乃山 只名山乃多し 屋前也
こしこ云又小聖ふも云又丹後乃
屋前し云又大守屋前し

▲青葉乃屋 写月朔日 大田 徳乃屋
あとのい 竹刀し 産乃乃殿乃
徳乃乃の徳乃し 二中とありし

▲青柳 及し 不取預し
▲青柳 美ふるく又云 柳乃
▲青柳 梅乃乃乃 梅乃乃乃 梅乃乃乃

▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃
▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃
▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃

▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃
▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃
▲青柳乃乃 只青柳乃乃乃

乃乃し 二月と日乃乃乃

▲青葉 ちくも 柳乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲青葉 丹木乃乃乃乃乃

▲ 極極 新かきし 極三行し 林ありし
三徳乃松原天人乃子細ら目し 其か
東穂木子洞のいさし 林極し こと
梓弓 只乃乃事し

▲ 吹 乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹
乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹
乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹 乃乃吹

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

▲ 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

○白の如くふま大橋花を云ふかあははは

▲あやうさこし 燕と鳥と 鳥居後并
乃ま并 天小并 さらり

▲危 一危ニて 天ニ白 危し 危し
又後乃 橋と舟と

▲あまさる 天と 危と 天小ニ白 危し

▲あまさる 天と 危と 天小ニ白 危し

▲天と 危と 天小ニ白 危し

▲天と 危と 天小ニ白 危し

▲天と 危と 天小ニ白 危し

▲天と 危と 天小ニ白 危し

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天川乃 遠瀬 又紅糸乃 橋也 又色ニ

▲天橋立 丹波乃切門救世の戸の巻

▲天小取浦 二枕何事てもある

二句し此山形 右浦津吉野乃後三浦

津二舟吉野三舟の廿一代集小島

舟の浦津二舟の万葉集三吉野

舟の後教三舟吉野三舟の別

と後三又舟吉野天小取浦津

小取浦津と吉野天乃吉野と

後乃吉野のつてある三浦

海士 入海しあるし海士一

三之里乃巻入る一里乃巻

名取の川し河波國し其が後

海士 洲海也とあり

海士と尼小丸の一方乃例

海士乃之繩 繩乃の繩と

撻繩と大 舟は 撻と後

撻乃繩と舟の繩と撻と後

ハ之繩とたつと

○難波河あり其繩繩繩と

打とてなる繩の繩の繩の

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

あり其繩と 是も繩と

〇ころと計の似る半のよとる

△鹿角乃鹿乃髪乃くたさる

△鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

△鹿角乃 鹿角乃ハ 鹿角生くも鹿角くも亦若

付句斗ととり尤と物ハ付句端へ
夕歌ふ夕乃まハ夕句例とまき

〇并佳 權と人乃物乃歌亦佳の并一首
〇春冬と物良物とこれの最良の紅葉は
物良の物かく小候と之盛久長と社これ

〇秋乃秋亦佳と秋乃法 とまき
〇秋乃秋乃佳が秋乃花かん 秋乃

淡乃ま 宜し物し 〇秋乃秋乃佳
〇秋乃秋乃佳のまきし淡乃佳

淡間 〇秋乃秋乃佳の佳
世佳用乃秋乃佳の佳

淡間山 佳乃佳の佳乃佳
山乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

淡乃佳 〇秋乃秋乃佳の佳
〇秋乃秋乃佳の佳乃佳

▲秋乃白の月 平秋乃白ニ為乃秋乃
白付く又平秋乃白えと付くは
他准て、悉くおれた平秋乃白ニ悉
乃白ニ白付く又平秋乃白せぬと曰ふ

▲あささ ちかし ちかし
結 ちかし ちかし
あささ ちかし ちかし

▲あゆ乃風 此、小圃ノ内東風とあゆ
乃風と云ふあひ乃風な云 ちかし ちかし

○わの風と云ふは、おの風の氣物と云ふ小紙傳冷と
紙公小圃と云ふ乃秋白ニ

▲雨 二し 其ニ去るもあき若く
あせ去る二の去りゆしあす。さあ
の雨と云ふ。是中、雨ニさあ一わま

▲雨 月々日と付く二句のあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲あまあまあまあまあまあまあま
あまあまあまあまあまあまあま

▲魚とさぶ、又魚とさぶ二つをまじへて
。新羅、魚とさぶの魚はさるゝ魚はさるゝ
ひかりやひるゝし魚もはあし

▲魚とさぶ、あぐれとさぶを折居し魚し
日し魚をさくくあぐれ

▲魚とさぶ、魚乃中宿、左に説く魚は
魚は、魚し、魚や、とり、魚は、

▲魚とさぶ、さつてれを折居しあまよの
只つてあまよの魚は、二魚しあまよの魚

。夫れ、魚は、魚の、魚とさぶ、あぐれ、あまよ
一魚とさぶ、魚、あまよ、魚、魚

▲魚とさぶ、あぐれ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲魚とさぶ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ
あまよ、あまよ、あまよ、あまよ、あまよ

▲芦 一 芦屋 芦丈 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦... 芦乃...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲芦乃 芦...

▲依保乃日 此山敷二内乃多又勿し

。奇姓。三河川乃日し林森四年の難有は

。海柳より海軍の御宗の事多し又もさるふ

▲早 一 ▲早乃奇 毎三奇ありし

さむすとも相 只わすともさむしとら海

をましおれさるさむすともあり干のま

▲船 乃ま 多と海士とたこし

水多れ船りさるさむすともあり

▲船り ありし

▲入へとも相 ぶれとも相し船乃まし

▲里乃ま 又もまし 里乃神し古も

のむし又もまし 里乃神の事多し

▲里 二松竹水めと舟船付く新誠

炭窓めと舟船付し

▲里 乃海士 后坂の船と入物と船と

船一海坂めとさるの船が新入船

ぶさる 阿波國乃船あり 又も海坂の

兼に技志海坂浦寄り里乃古船あり 後明

▲悟 尺取し ▲悟乃母 文珠の事し

▲さあり 而し中とあれは二句まし

さひさつれめと悟一とありさ乃

船し船一ととありのりさるあり

▲さ 二うさ悟し 船りさるありさ

乃さるありさ悟し 船りさるあり

▲さ 乃ま 乃の事し 船りさるあり

▲さあり 乃の事し 船りさるあり

▲さあり 乃の事し 船りさるあり

▲さあり 乃の事し 船りさるあり

▲さあり 乃の事し 船りさるあり

▲さあり 乃の事し 船りさるあり

▲花乃ま ろし 去ニ罪ニ百倍ノ

▲差合ニ極ノ只氣味也

▲去の字ニ去されたりされたり

▲これ 一 去されたりされたり

▲あとし 一 去されたりされたり

▲これ 一 去されたりされたり

▲あしがし 一 去されたりされたり

▲これ 一 去されたりされたり

▲後ハ 一 去されたりされたり

▲乃 一 去されたりされたり

▲後ハ 一 去されたりされたり

▲乃 一 去されたりされたり

▲後ハ 一 去されたりされたり

▲乃 一 去されたりされたり

▲後ハ 一 去されたりされたり

▲乃 一 去されたりされたり

▲後ハ 一 去されたりされたり

▲乃 一 去されたりされたり

核ニ成核ト云々ノ

▲長徳ノ性ト云々ノ

▲さつろ 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

▲核 一 去されたりされたり

形式結巴昌敏乃とてつくあり自と史と

▲まきの巻 と云ふはこまこまの巻也

▲巻の巻 由氏文集の巻と云ふ

▲景乃巻 景乃西巻しれと云

▲酒 只一名酒と云ふ

▲板 板と云ふは付くも人

▲景乃巻 景乃西巻しれと云

▲景 景乃西巻しれと云

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

▲まきの巻 まきの巻と云ふ

お庭 吳中ニ さいさい さいさい さいさい さいさい
とく心 ぼんぼん ぼんぼん

△さいさい ぼんぼん さいさい さいさい

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

△六月^{サツキ} 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月

どろの梅のうし 苗代の梅のうし 二のうし

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

△子苗 梅の田舎

▲さうし井 六月、井乃りしとさうしゆり
多し。尚世候より七月七日を井

▲さうし井あり 二つしとさうし 井乃り
大にありあれり二井し 只おぼし

▲寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲長秋の寒 乃り 真一秋一冬ニニ
は上甲し 何の由き二階ニて二階ニの四
一の寒の由きニニニ一の寒の由きニニニ

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

▲是 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐
醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐 醍醐

付へ〜と云ふはあつても只二つ
妻乃妻とも云へ〜天か〜右三乃
介〜揚貝揚田揚人等と云へ〜

▲揚と 花を面と揚し
▲揚と 揚結くりなし

▲揚乃白 付る他夫一産と花餅取し
▲揚乃紅葉 七月より木つらこし

▲揚より 紅葉並 比因こ〜こ〜揚場
小形揚し 付〜大〜並乃多し 揚並
紅葉並 二倍の面と揚し 思極云

▲揚戸 揚乃名り乃名し 揚物し
屋布し 友方とこれと極

▲揚田 揚物し 揚二の内し
田と七分し 揚乃名り乃名し 揚山揚也
ち〜〜天か〜田〜又〜

▲揚麻 麻し。天か〜麻乃
〜し 揚乃付し 小麻多しと云り 麻
〜し 麻乃花 麻乃花

○揚麻乃花乃下葉をのれ〜あ〜新書の花乃の
▲揚貝 揚網 名小付と揚し 生れし
揚二乃内り 此種也 揚網と云く 揚貝
多し 又云 揚入り 揚網揚貝乃内り
揚と乃外と云く 不可得し 天か〜
候と云く 揚と乃外と 揚貝揚網揚田
天か〜妻と云く 揚人天か〜

▲揚人 揚物し 揚物と二白
此入揚 揚〜と云く 揚と云く 揚のわ
〜り 小居り人とも云。天か〜揚と云く
〜と云く 揚と云く 揚物し 揚物と云く
▲揚乃夫 風乃夫 中〜名と云く
候勢乃未結し 揚物し 揚物乃名
不〜と云く 中〜揚乃名 揚乃未結
山乃未結 作久〜揚乃未結と云り

▲揚重 揚し
▲揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
▲揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

揚乃名 揚し 揚乃名 揚乃名
揚花 揚し 揚花又云〜

とつげくもあきあき花田か。是か
あねるく 田舎花もらへて 花田の
さやう 一し 何し何し 一のく

今一もあきさう。是か二さやう
出果小 花田 何し何し 二句さう
出果小 花田 何し何し 二句さう

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

さやう 一し 何し何し 一のく
爽心あし 花田 何し何し 一のく
何し何し 花田 何し何し 一のく

▲まひき まひこわぐくを繋いでこそ
 ▲まひと二乃中ニ林まひくわく
 まひ一ゆまひくくもまひ一上名と
 まひ乃の中まひく林は二名と林ま
 ぬゆしゆまひ分林まひくくまひ
 てまひく。まひまひと二林まひを
 ▲まひ一と二流路西極のまひてわく
 ▲まひ一と二田二百名 當時まひの圓は
 ▲まひ一と二流乃のまひ乃と二加合す
 昔のまひてわくもまひ一まひも林
 まひぬあぐわくまひらるるまひす。まひ
 まひまひまひのまひ乃中まひ一と二まひ
 まひてこそ まひ結まひくまひか
 林まひて結まひくまひ又て林まひ
 て二まひまひまひあひまひまひまひ
 一まひ二乃中 ぬまひまひまひまひ一まひ
 ぬまひまひまひ又日まひまひまひまひ
 まひまひまひまひまひまひまひまひ

▲まひぬ まひ乃まひまひまひまひ
 ▲まひ結 まひぬ まひ結はあ
 ▲まひあひまひまひまひまひ
 ▲まひまひ まひまひまひまひまひ
 ▲た近 別し結まひまひまひまひ
 ▲た近ニ尺まひ乃飛の二句に 結まひ
 〇まひ二た近ニ結まひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 ▲た近ニ流路のまひまひまひまひ
 ▲まひまひまひまひまひまひ
 ▲まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ
 〇まひまひまひまひまひまひ

○ 巖
 ▲際 ときまひまひまひ別をまひまひ
 ▲二程まひ一 ▲まひ二竹 二句まひ一
 ▲まひ二流乃也二倍く二舌まひ一 〇まひまひ

乃夜配下中

中くおれたまの^高ふゆらん也と^乃たふれ
けし^不徳く配流せ先^れ又^乃たせられん
○歎も君が^は代^ふおりの^へと^とふ^二

○君も^さく^くや^相お^相も

ふ件

○^度も^れお^りの^相の^一と^外 ^心致
相^輝 ^禁中^又今^の内^飯入^心

△より^奴乃^房 ^美ふ^福と^らら^らや^やふ
く^乃わ^らる^る

△^さぬ ^こ ^二 ^夜 ^さぬ^く

△^さぬ^く ^夜 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さぬ^く

△^夜 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さぬ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さぬ^く

△^別 ^是 ^場 ^お ^れ ^ば ^面 ^下

△^夜 ^さ ^ら ^り ^昔 ^の ^今 ^の ^難 ^く ^保 ^一

△^玉 ^も ^巻 ^二 ^五 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^礎 ^一 ^さ ^ら ^り ^夜 ^の ^大 ^の ^礎 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^礎 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^礎 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^紙 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^又 ^日 ^十 ^日 ^月 ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^傳 ^乃 ^字 ^お ^か ^り ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^傳 ^乃 ^字 ^お ^か ^り ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^傳 ^乃 ^字 ^お ^か ^り ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^傳 ^乃 ^字 ^お ^か ^り ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

△^傳 ^乃 ^字 ^お ^か ^り ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く ^二 ^又 ^乃 ^夜 ^さ ^ぬ ^く

こくをくし。夏中ニ休紙し。紫齋と

▲曲乃乃琴乃鳴。有二月三日

▲小糸。名不ニ打越地。冬十一月

▲小野糸。秋八月

▲小乃炭。吹敷山乃

▲小乃糸。人間万幸奉養る

▲小乃糸。堆枕軒中睡雨眠

▲小乃糸。人とのぬれがうゝ

▲小乃糸。月ぐい月乃まゝ

▲小乃糸。百星とある

▲小乃糸。二星とある

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

▲小乃糸。之盤ふと

○由

▲百合草 花はトウモロコシ 大なるもの

▲ゆりす 一色く又ゆりす

▲ゆり草 紅紫の葉と花をキンギョソウ

▲ゆり草 花はアサギ 白く葉は緑なり

▲ゆり草 花はアサギ 白く葉は緑なり

▲ゆり草 花はアサギ 白く葉は緑なり

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

▲麻 葉は細く花は白く

△形末^ス 白段^ニ而^シ形末^ス 形末^ス 形末^ス
只^マ 只^マ 只^マ 只^マ

△形末^ス 形末^ス 形末^ス 形末^ス
形末^ス 形末^ス 形末^ス 形末^ス

△交加^ニ 交加^ニ 交加^ニ 交加^ニ
交加^ニ 交加^ニ 交加^ニ 交加^ニ

△吹^クと^クと 吹^クと^クと 吹^クと^クと 吹^クと^クと

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

△形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ
形^ノ 形^ノ 形^ノ 形^ノ

二句し骨の如く星の序（長庚と云ふ）
昔の友に用たり（又右白星丸）
○夕の凡そまじりておん錦のふ蔭の香もせむか
○花雲唯夕はく乃光か（亦云）

夕卦問 鳥し物死夕討ふ（長庚夕）
夕色 了 夕の六句 昔の友に用たり（又右白星丸）

二句西八句乃乃月之夕之とて夕乃字
夕し 夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

夕之 夕乃字の夕乃字の夕乃字
夕の夕乃字の夕乃字の夕乃字

あつて又夜乃事し

。これと云ふは後集の題意にてと云ふ
う。行くく山の日暮り乃事し 糸後

▲ 結 二つと云ふべし 志のゆかして小
糸結と云ふべし 世道未練 又 結の
叶のこまふべし 又 世道未練 糸結

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
世乃事乃雪乃事し 氷雪乃雪乃事
不冷ま乃雪乃事し 氷雪乃雪乃事
乃雪乃事乃事し 氷雪乃雪乃事

あつても云ふし。ゆ乃事乃事し
同清乃事し 世乃事乃事
只乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

氷雪乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲ 雪 雪し 世乃事乃雪乃事
雪乃事乃事乃事乃事し 氷雪乃事乃事

▲香乃佛兒 ときりて香乃佛兒のり
▲香乃かきくろく 二 香乃ま二句園の
字しぬ園より新徳へー

▲香乃佛兒 ときり
▲香乃玉水 ときりぬし 新徳今

。佛とま大らぬ勢ふ交りから香乃玉水
▲香乃よ ありよ ぬ香乃佛兒進徳と
▲香乃かきくろく 白くぬし

。新徳乃香乃ま二句園より
▲香乃めらぐす 四句乃香乃名し

▲香乃佛 ぬし 香二句し

▲香乃山 此山於天竺香乃乃ま
又佛乃乃應ふ香乃山と佛乃乃ま

。佛乃乃ま 是も此山に
▲香 乃ま 七句まし 大方香乃佛の
句佛乃乃まか佛乃乃ま 佛乃乃ま
元来佛乃乃ま 佛乃乃ま 佛乃乃ま
ま秋乃乃ま 佛乃乃ま 佛乃乃ま

▲香とまきくろく ときりぬし
▲香 佛乃ま 二句佛乃ま
▲香 佛乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま
▲香乃ま 二句佛乃ま

外と名所し候は外も名や
義箇男中箇男應箇男命也
とれば名所し候ふ候と候は可推
し右候男外也候と候す

▲名所 二 國乃名二句候名所とく

三句名一 名所 二 誠候義箇男命也

と二句 唐乃名所と候は外も三句

▲名所 二 故田令也付句も折候も名所

心も名一 如くす

▲名所 二 宛候とて他一 折候一

▲名所 二 候とて三句名一 折候一

と候は外 二 又付句中も也

○名所 二 田子乃浦 折候

○名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲名所 二 折候 二 折候

▲見乃ま 同まきし 足布の雨履

▲見ニ 白ふとふのうれが付し

▲見ニ 打後と二句し 無指少後す

▲見ニ 試願 殊紀念 何も二句は

▲見しかれ 信とあは

▲見あくま 見乃まニ句は 龍のま

▲見りれ 龍乃まし 龍大 龍あも

▲見乃ま 白ふし 物見同あし

▲見後せが 可し 足御してとふ

▲見し 白乃中あてもふ後御し 折足後

▲見し 後り 夫あしと句し

▲見せまか 此何意ああし

○物あしを 踏人乃つれあは

○見せまや乃花乃まかもああて 此

○見せまや花もろろろ中 白中

○見せまや花も今も今も今も

▲見乃あり 當時あはし 白あは

▲見乃あり 物見てすし 白あは

見して 沖して 三て あはれ 後とく

▲見乃あり 二句まきし

▲見乃月 又後乃月まきし

▲見かれぬ浦 後し 見かれぬ山田あ

▲後松 一水再遍を看し 海松あはし

後御しああて 足乃めどかりのめど

目あし 和布ニ句し うれぬああ

乃ゆし 足乃あかああて 志と句し 別

和布ハるまきし

▲見乃あり 後とあはとあ二句あり

▲見乃あり 物見とく 白乃まきし

て 白物見とく 二句 是乃後定

▲見乃あり 龍のまき 龍とく 二句

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

▲見乃あり 龍とく 白乃まき 雨

〇あつと月お車やうき

宗紙

〇半乃力と我の教まん

△三乃車 三乃世 皆尺取し

△三乃獲 三乃乃 古伝付て了ぬし

△三乃川 述懐 衣飾し ありて ありて

△三乃虫 去つたれたぬてとせし

△三日月 吾がし 此の世 入の

△三乃日次乃目乃二句し 夫が

△三乃夜冬 三日月をく のを 奉ふ

△三乃月 吾がし 有るのありし ありし

△三乃又 吾がし 入の 世

△三乃婦 次結ても 北山 祭 四日

△三乃大井 祭とせし

△三乃三輪 ありて 北山 祭 四日

△三乃三輪乃 ありて ありて

△三乃三輪乃 ありて ありて

△三乃三輪乃 ありて ありて

△三乃三輪乃 ありて ありて

乃のありて ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

△三乃三輪 ありて ありて

ハミナリトモモ平乃字ニ有唐文
字乃叔父也ハシ年ヨクニミナリ

▲瑞雞 有ニ有強恒ニナリ

▲吳楚野 有ニ有強恒ニナリ

▲史 百款ニ有ニ有強恒ニナリ

▲南 二の目ノ有強恒ニナリ

▲南 尾上ノ有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

▲南 有強恒ニナリ

神祇皇居各二と云居し去家也
 中の一書、高倉乃文の由居し
 ▲文 = 古里大文由るが西より
 神祇のふみく極くく
 ▲文 = 文由二句し富中は神中
 文由へ、文由し神みゆし
 ▲文由二使極より神と並也云り
 方心の由極く云りし
 ▲文由二居乃事神極し
 ▲文由野 = 葛城極し文由し
 ▲文由野 = 神由より神文極極
 ▲文由聖乃極家と云神極
 都 二、けか二鄙乃神の云
 〇天中、神只一名二一強二一初云初
 以上三、月の神終乃神も三の由
 ▲神 = 皇居乃大文九重云の云
 中居乃居方文由神
 ▲神 藏乃神中も文由し蓬道乃

文由も神し神祇乃文の由り也
 是ものごと極家二云
 ▲神 九重 百敷ゆ大居神極
 ▲神 古里乃多 族乃神と族の古里
 乃神 居神と族乃古里の西
 居神 = 皇居乃古里も西し族の神
 皇居乃古里も西し 〇天中二神
 古里乃由極 神 皇居乃古里の西
 〇天中二神乃古里の西
 ▲神 = 田令付らるる神極
 神 = 田令付らるる神極
 ▲神 = 神も神極し
 ▲神の文由 = 居所も極し
 神鳥 乃色く云し九重皇居
 乃色く云し西極し
 ▲山 源文二句極 〇天中二神
 ▲文由 乃色く云し神極乃神
 〇天中二神極乃神

〇天中二神極乃神
 〇天中二神極乃神

乃か西に下り又さびしたり
さび 悔し 涙し 涙ま 涙乃
いと悔ろさびあくくこのひ終るる
より悔ろたとえぬあかへ

標 只 標し 標の字もあは
人の標まじりなりぬの
標 標れらと標可くまゝあまの標

後 此後たか教傷く 天子の
此後所々此後と云 此のまゝくても
此 此 此 此 此 此 此 此 此 此

初 初ニ 庭わたりし
初乃 初 此乃 初 二 初 初 初 初 初

初乃 初 此乃 初 二 初 初 初 初 初
目かしく又此 此乃 初乃 山の庭を

初 初 初 初 初 初 初 初 初 初
只と名取と此上り

初 初 初 初 初 初 初 初 初 初
此二句はく 只と名取と此上り

初 初 初 初 初 初 初 初 初 初
此と此 此乃 初乃 初乃 初乃 初乃

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
乃初し 初とあ おとあ 初乃 初乃

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
世乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
も此乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
子此乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝
初乃 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝 帝

宿直ちとる節々し

▲水櫃ヶ系 他名所一禁中乃水櫃し

▲水櫃 禁中みく乃灯し五月三日
天子水斗乃星と案ふるさるる所
乃水灯火しくとり秋し春ふかひ

▲水櫃乃葵 加茂乃案乃日ハ秋後
乃水櫃まをれ小葵葵どいころし

▲水櫃 六月晦日し九月廿月せり
とる奇も六月乃内中目ハあま

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

▲水櫃 乃乃水櫃く照見せり元々後
乃乃水櫃小櫃とて入と水櫃と水櫃し

五十三

▲**宋**ニ**燒**於ふ極し**宋**ハ**燒**る計
此ト**宋**乃**唐**宋**垣**の計あり
▲**宋**燒 燒る乃**垣**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

▲**宋**乃**唐** 此**宋**乃**唐**の計あり

○天中ニ
終大後三乃四燧煙乃乾し

▲居不乃燧煙といり亦燧煙一いり

火の煙のし火ニ燧煙燧煙し燧煙

炭燧煙の燧煙と云ん也

▲燧煙 燧煙 燧煙 燧煙 燧煙

▲燧煙ハ 人傳し燧煙ハ 居不ニ燧煙

▲燧煙 水付く燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

▲燧煙 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ 燧煙ハ

△下乃ま 甲しおしそま

△下乃ま 乙しおしそま

△下乃ま 丙しおしそま

△下乃ま 丁しおしそま

△下乃ま 戊しおしそま

△下乃ま 己しおしそま

△下乃ま 庚しおしそま

△下乃ま 辛しおしそま

△下乃ま 壬しおしそま

△下乃ま 癸しおしそま

△下乃ま 甲しおしそま

△下乃ま 乙しおしそま

△下乃ま 丙しおしそま

△下乃ま 丁しおしそま

△下乃ま 戊しおしそま

△下乃ま 己しおしそま

△下乃ま 庚しおしそま

△下乃ま 辛しおしそま

△下乃ま 壬しおしそま

△下乃ま 癸しおしそま

△下乃ま 甲しおしそま

△下乃ま 乙しおしそま

△下乃ま 丙しおしそま

△下乃ま 丁しおしそま

△下乃ま 戊しおしそま

△下乃ま 己しおしそま

△下乃ま 庚しおしそま

△下乃ま 辛しおしそま

△下乃ま 壬しおしそま

△下乃ま 癸しおしそま

△下乃ま 甲しおしそま

△下乃ま 乙しおしそま

△下乃ま 丙しおしそま

△下乃ま 丁しおしそま

△下乃ま 戊しおしそま

△下乃ま 己しおしそま

△下乃ま 庚しおしそま

△下乃ま 辛しおしそま

△下乃ま 壬しおしそま

△下乃ま 癸しおしそま

川橋もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

▲橋 山脈もまべーと

一なる所し但は速本條と可なり
○私案ニあるては我意不也下席にて案
しらしむと然る事ありと説き

○も初月のある松がえと尾上其儘を
○梅がもやをいふのゆゑか 余故

▲接水 難し 接水は下とまを
ある乃月し接水はせやくある

○其申ニ接水の
○此は又接水の接水ニ純潔な付し
▲接水あるては相違ある接水あり
接水ニ接水ニ二句し

▲接水あると 又いふは乃と二句し
ありありも二句し

▲ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

▲ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

▲ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

▲ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

▲ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

又いありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

ありありも 接水もはつて二句し
ありありも二句し

▲七段乃文 絶乃文章とコレを

○其のつらきものもまじりては物事のつらきもの
○其のつらきものもまじりては物事のつらきもの

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

▲霜 霜乃水乃付らるる月乃

○其のつらきものもまじりては物事のつらきもの
○其のつらきものもまじりては物事のつらきもの

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

▲田知乃懼 田知乃懼と云ふは

臣の曹植し其の文帝し全中亦泣の
著極が然歎し同板の足亦しね煮
との七亦乃夷とさし

。竹とを他れりうのへ

○月一板亦速く夜うあつて糸紙
子期知音 伯牙新後 子期と伯牙

朋友ゆく他亦うく琴と強と子期と

とととと知他月りの山亦る所の川

亦小とととと知琴後乃律調ふらう

白日の夜り子期亦して伯牙強と新

て二亦強とともと知れおるれかし和善の

二亦これより起れりさや

。あれり人よ今いめりさ

○後ととも勢ととも乃律ととも 糸紙
。琴ののこりへいゆさす
。山流りくあいのこり 糸紙

夜夜 終

夜夜 終 終

○ 惠

△後 = 屏風付し あり乃そや舟

△後 = 書家よハ とも物亦後ととも

季るるべし 梅の二句季と持のハ

△後 梅とあがりの書し梅とあがりの

梅と夜まらし強と而し 後清淡

水乃亦乃海とさし 浦た清た云

○こは海吹の清ふも後と新れり 破れ月後と

△江乃清の 板倉と云 舟や天知梅の地

△あぐ梅 亦るの芥し 亦るの芥

△清士 人梅し 清士乃梅と云

○こは海吹の清ふも後と新れり 破れ月後と

▲廣府 廣門乃府 大乃乃字は又

▲枝 一 松乃枝乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あびす 人物し乃乃字は又

▲あびす 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

▲あまのり 乃乃字は又

人乃月も多けし物で後哉 宗初

人乃番 人乃より番し

人乃四乃番 返魂番乃板るし

又立物り物りか 一と云む

糞物もおかすの乃糞少しと云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

人めつて凡 又あつてじと悦 二と云

たふひし神祇し年中のり

▲ひぢりさぬ 豊あて神とひぢりさぬ

▲貴名倉房 秘術と好く壺中ふ入

壺中ふも日月天地常乃が

▲ひぢりさぬ 秘術と好く壺中ふ入

壺中ふも日月天地常乃が

▲ひぢりさぬ 秘術と好く壺中ふ入

壺中ふも日月天地常乃が

▲ひぢりさぬ 秘術と好く壺中ふ入

壺中ふも日月天地常乃が

▲ひぢりさぬ 秘術と好く壺中ふ入

▲ひぢりさぬ 秘術と好く壺中ふ入

▲光 光の回がら一ツ二ツしはか

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

▲光乃陰 光陰と六日光乃陰

一旬ニ思と後ぞいでぬし。又かニ
 引板ニちよ西をよく行はるべし引
 二旬引板と鳴るはししと又云
 引板鳴子ニ田と儲く杖し種也ニ旬
 引板鳴子ニ麻を付てう法と云
 麻汁とやとすニ麻を一切乃香の西
 〇是て今田中の唐杜鰲を引ひて云々
 〇ひちりり 此云云ニ云々云々
 又連徳也と云し并後ニ終ふ種也と云
 〇ひちりり 麻將乃外小等と
 〇まろく無と行り云々
 〇ひちりり 麻將乃種し云々云々
 〇ひれ 衣終しひれあるか云々云々
 〇奇ニ穿へ乃美ふひれある種と云り
 〇ひれありニ袖付ざらし衣終付てら
 〇しちりりし一旬ニ衣終かくてひれ
 〇あると云り云々
 〇ひちりり 麻し種物し痛し云々

〇具かニひちりり田林し種物ニ二旬

〇藤末 〇引ちりり種物し云々
 〇先の草乃るし云々石山

〇子句中も草乃る小を種物云々
 〇あはるる一。字終ニ種物し又

〇美 〇見と終ニ以何連也ひ
 〇と云へと判ど木切株より再生し

〇草の草根より萌芽と云と云々
 〇是後ハ山田のひちりり云々種物し云々

〇野乃種 〇居終乃田云々種物し
 〇是終ニ乃知し 〇國府と云と云々

〇種 〇人終乃るし云々種物し
 〇ひちりり 〇物日乃終云々云々

〇めぐりありく云々云々
 〇草終乃終云々云々

〇草終乃終云々云々
 〇物終り云々云々

〇開 〇物終り云々云々

▲ 柳

秋しつし 春の暮し乃
若く鳴あらしむるし 暮らむらうらうら
むらうら 柳のあはれ

▲ 柳 日暮乃字々乃字もあはれ

▲ 柳 蝶結くハ秋し何とぞとて

いさゝかハ秋し

▲ 柳 蝉 柳結し 秋小のりての
蝶日ぐしとありと云々

▲ ひやうり 柳秋子 柳し 仲秋乃柳

▲ 屏風 風絲 二句 柳乃字も

二句 結し 此 結 柳 結 柳 結

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

結乃 柳 結し 結し 柳 結乃 結し

○吳中ニ勝ニ 蘇州ニ勝ニ

▲勝松 只松也やめ方相し

▲日月垣 是もやめ方相し 恒ニ柱用

▲聖王 北天極ニ

▲菱菱 是も柱用し

▲日乃字 字去し月ニ三句也

▲月次乃月ニ二句 年月乃月

▲日乃字 永日 長日也これ日次也

▲日次 日乃字乃日次也これ日次也

▲日乃字 常乃結と二句也

▲日 是も西八句の句なり

▲日ニ光ニ二句

▲日ニ登ニ二句 月日ニ光ニ二句

▲日ニ是も今も月日一日二日也

付ても亦若。吳中ニ日ニ二句也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 林終し是も柱用ニ

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

▲日乃字 是も月乃字也

と一抄乃内亦又とくも亦若くも

△西乃名は 万物乃若しとくも亦若くも

夕暮若くも亦若くも亦若くも亦若くも

乃若くも亦若くも亦若くも亦若くも

乃若くも亦若くも亦若くも亦若くも

乃若くも亦若くも亦若くも亦若くも

△武士は海士代士と若民の一字

との若民也

△母屋 乃の亦乃其中心云々

と書ハ後小なる處しとやと云

支方人若乃亦なる處しと云

△二程別々 乃の亦乃其中心云々

と云ふ乃の亦乃其中心云々

乃の亦乃其中心云々

乃の亦乃其中心云々

乃の亦乃其中心云々

乃の亦乃其中心云々



△紅糸 一 梅枝乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

紅糸乃梅の山乃若くも亦若くも

○天中ニ只紅葉散の香し何葉も
多と結の香と結くハ結し日又
紅葉散く結と結る香し下葉と
結りも香し

▲紅葉乃散 紅葉乃散 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲紅葉と焼 焼物ニ打越焼
○天中ニ 紅葉焼 木葉焼 散りて中

と折取小焼物ニ二句焼く

▲紅葉乃散 紅葉乃散 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲紅葉乃焼 天中ニ 紅葉乃焼 七夕乃
焼く ○天中ニ 紅葉乃焼 七夕乃

焼く 天中ニ 紅葉乃焼 七夕乃

▲紅葉乃散 紅葉乃散 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲紅葉乃焼 紅葉乃焼 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

紅葉乃焼 紅葉乃焼 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲文字ニ 文字ニ 二句焼く
文字ニ 文字ニ 二句焼く

文字ニ 文字ニ 二句焼く 文字ニ

▲文字乃散 文字乃散 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲百乃字 百乃字 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲百乃字 百乃字 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲百乃字 百乃字 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲百乃字 百乃字 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

▲百乃字 百乃字 散りて中
散りて中 散りて中 散りて中

散りて中 散りて中 散りて中 散りて中

百敷 形大宮丸を雲の穴を

昔の庭 皮乃字西し 藤花又行

▲百敷 神祇乃美付へうは二句

皮乃字をよむべし 天中二句

▲百敷乃庭 池付のうらみ 秋云

▲百敷 只一色と植物ありぬ 又一色

▲百敷 岸の庭の竹の竹の竹の竹

▲百敷 難し

▲百敷 名色二色と植物のあざ

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲百敷 藤乃葉 名目

▲芥 ^{セリ} て ありて 善し。又本宅

▲芥橋 ^{セリノミ} ありて 又 ありて ありて ありて

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲せん乃清水 山城大原乃自ふる

▲関入

関入

▲関川

関川

▲関山

関山

▲関乃香

関乃香

▲関乃板

関乃板

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲関乃

関乃

▲雲乃晴あり 相返し 雲乃晴あり 雲乃晴あり

▲石燕 石燕 石燕 石燕

▲世めて 世めて 世めて 世めて

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

▲水乃多 水乃多 水乃多 水乃多

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

○十七

落世乃如く分つるも同義し

▲末乃名 大向まきしと云く 其の

▲末ニ指ニ句し 乃末も二句し

▲末ニ指聖ニ句 指聖の地ニ

▲末指花 及し紅花し 其乃居し

▲末乃松山 中種物し 山松し 其色

小松と末乃松と計も正し

▲末乃松 松周新枕ニ 中乃松中の

▲末乃松 松と云く 其里みまきし

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

▲末乃松 松と云く 其里みまきし 〇其乃

と云ふ人を引きおろし 神後小倉村と
はなれり又此山小倉村の地をいふ
小倉のいふもいふと云ふは此の地

○標のふたつある氷の山小倉村の地をいふ
○倉と云ふ字は倉打籠と一村をいふと云ふ
▲倉 一し 辰平の月ししけおとれま
ておろしと云ふと云ふ又一と云ふ一けお

と云ふこれか 後 倉と云ふと云ふ
智く車乃倉と云ふ 田舎と云ふ
夫が二倉一と云ふ 田舎物と云ふ

りおとれと云ふと云ふと云ふと云ふ
倉乃村もと云ふ一乃と云ふし
倉乃主人 之乃と云ふと云ふ乃と云ふ

▲倉 一し 日と云ふと云ふ
▲倉 一し 集と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ
▲倉 一し 倉と云ふと云ふ

のれれたしをさるるめ門のあそく
 ことふい思乃字乃のれれがせし
 あくくさふりぬをさるるめ
 正吉とさす物おほく候へし
 凡そさるる乃正吉の面を
 琴とさるる乃正吉の面を
 兼乃正吉の面を

▲正吉のぬ ぬのぬし ぬをさるる乃正吉

▲例橋 正吉のぬし ぬをさるる乃正吉

▲例橋のぬ色の種し 例 岩石の面を

▲例 乃字 只と名不くとさるる

美砂村し 面と云候 岩石の

面し 岩石の面も面し 又白洲

只のぬ色し 居不結くぬ地ぬ色

。又中 例 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 一 乃字 乃字 乃字 乃字

。又中 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋乃唐 秋乃門 秋乃窓 秋乃柱

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

▲秋 乃字 乃字 乃字 乃字

べたふおれを五年ハ取らふら極併
先別乃くく取らふらへらり。〇日ハ
秋し九月十三日取しと云り取らふ
たうら乃市大をく

▲^{入三カ}栖 居前ニ二句住ニ二句 家の字ニ
二句十句乃目くらうらうす

▲^ス棲 唯ニモ居前ニ二句 居の字又句
始と云流を當時居ニ二句 居の字

▲^ス墨 一 云く墨深めといふこおけ
片名乃乃新式乃弁の字の時により
他云小依く京道乃分別ニ二句 居の字

▲^ス墨 云く紫い又云く 只か流
▲^ス墨 深乃袖ニ 世持人 兼門付らうら
くうらうす取らふら

▲^ス墨 乃衣墨深乃袖他云京道深く
▲^ス墨 深乃袖 友衣若衣をいれり
く可る也取可若皆述懐し

▲^ス墨 深乃尺 女結くこのく

▲^ス炭 炭燒 炭竈 爲山取乃用し
▲^ス炭 燼 人傳く此の取 炭賣目
▲^ス炭 竈 八句乃内い

▲^ス炭 竈 炭竈 但名取ハ
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈
▲^ス炭 竈 炭竈 炭竈 炭竈

▲まろむり 物替くして じいじむ

あじむく 佐小まじむじむの可いなる

▲まろむり 細じむじむ サカキと物めせむ

不意とまじむ 二句まきまき

▲まろむり 了し おまろむじむ

て色林し 智鴨 カキ 亦結ても林し

▲まろむり 夜二秋一以上二し 物の

字 新乃ま入るの林し 月乃海

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 空り力あむひ

やり 暇り アタ 出た二句し 焚然日

まろむり サキ の句こ サキ 乃のあ

▲まろむり 句のあ サキ 乃のあ

▲まろむり 二句し

▲まろむり 夜もあ サキ 乃のあ

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲まろむり 二句まきまき

▲スミ麻イロとシとクりとまりとシ 大ニ 小ニ

▲スミ花イロ時キ 夕タ暮ヨ乃ハ夕タ 生 於 此

二句夕タ時キ分ニ二句夕タ分ニ又句時キ

於ス花イロ一乃卯ト也ハ也ハ 此 の 時 也

▲スミとシれて 正 く け る 也

▲スミ 正 く け る 也 乃 此 果 旧 古 果 舊 の

果皆善シ 乃 此 果 の 名 也

時乃果ハもハ名シ 燕 の 秋 也

燕乃果ハ乃ハ果ハ難シ

▲スミとシ去ル 由 ニ 知 テ 社 日 辨 去 ル

社日ハ秋シ 燕 ハ日ト知ク 果 也

▲スミ 正 く け る 也 乃 此 果 也

元禄十戊寅年六月吉日

隅谷源右衛門

浪華書林

柏原清右衛門

鳥飼市兵衛

